

授業科目名	フランス語	科目コード	G6101P09
英文名	French I		

科目区分	教養科目 - 外国語科目		
------	--------------	--	--

職名	教授	担当教員名	大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目 1限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	<p>フランス語が使われている国は、フランス以外にも、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等、たくさんあります。英語以外にももう1か国語学ぶことで、あなたの視野は確実に広がるでしょう。この授業では、初めてフランス語を学ぶ人を対象に、フランス語のアルファベットからスタートし、順次フランス語の文章の仕組みを学習していきます。フランス語は発音が少し難しいので、つづりの読み方や発音の仕方には特に注意を払って勉強します。また、映像教材を見ながらフランス各地を旅して、広くフランス文化を学びます。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	発音	初級文法	初級会話	フランス文化
-------	----	------	------	--------

到達目標	フランス語の綴りを発音できる。(20%)
	フランス語の簡単な文章の構造を理解でき、簡単な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。(70%)
	フランス各地の特色(観光名所、歴史的建築物、郷土料理など)を学び、他者に説明することができる。(10%)

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	フランス語のアルファベ フランス語のアルファベの発音を学び、自分の名前の綴りをアルファベで言ってみる。	
	【予習】	
	【復習】アルファベを暗唱できるようにしておく。	30分
第2回	会話「こんにちは」、「はじめまして」。 フランス語で簡単なあいさつを試してみる。	
	【予習】	
	【復習】簡単なあいさつ表現の暗唱。	30分
第3回	名詞の性と数 名詞の男性名詞と女性名詞、単数形と複数形について。数詞の1～10まで。	
	【予習】	
	【復習】男性形と女性形についての復習。	30分
第4回	会話「切符を買う」。冠詞 不定冠詞と定冠詞について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】名詞の数と性に応じた冠詞の使い分けを復習しておく。	30分
第5回	会話「切符を買う」。動詞êtreと強勢人称代名詞 英語のbe動詞にあたる動詞êtreについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】動詞êtreの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第6回	動詞êtreと強勢人称代名詞 動詞êtreと強勢人称代名詞を使ったやや難しい表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】強勢人称代名詞の種類と用法についての復習。	30分
第7回	会話「どこにお住まいですか？」 第1群規則動詞(er動詞)について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】第1群規則動詞(er動詞)の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第8回	<p>会話「どこにお住まいですか？」 動詞avoirについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】動詞avoirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第9回	<p>指示形容詞。avoirを使った慣用表現 「この、その、あの～」という表現。avoirを使った様々な表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】指示形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第10回	<p>会話「小銭を持っていません」 否定文の作り方。数えられない名詞につく部分冠詞。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】否定文の作り方についての復習。	30分
第11回	<p>会話「小銭を持っていません」 否定文に使われるde。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】否定文に使われるdeについての復習。	30分
第12回	<p>所有形容詞。様々な否定表現 「私の～、君の～」という表現。様々な否定表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】所有形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第13回	<p>基本数詞 1～100までの数詞を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】基本数詞の暗唱。	30分
第14回	<p>総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第15回	<p>総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分

第16回	中間試験	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	会話「会場に入りましょう」。命令法 相手に合わせた命令文の作り方。	
	【予習】	
	【復習】命令文の作り方についての復習。	30分
第18回	会話「会場に入りましょう」 形容詞の性数変化について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】形容詞の性数変化についての復習。	30分
第19回	命令文と形容詞 様々な命令文の作り方と形容詞を使った表現。bonを使った慣用句について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】bonを使った慣用句について暗唱。	30分
第20回	会話「これは何ですか？」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分
第21回	会話「これは何ですか？」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】疑問副詞を使った文章を暗唱。	30分
第22回	前置詞のde、àと定冠詞le、lesの縮約。 C'est ~で感想を言う。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】前置詞と定冠詞の縮約についての復習。	30分
第23回	会話「ここで写真は撮れません」 pouvoir「～できる」、vouloir「～したい」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】動詞pouvoir、vouloirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第24回	<p>会話「この絵の中ではどれが好きですか？」 疑問代名詞「どれ?」「どちら?」 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分
第25回	<p>会話(様々な依頼文) pouvoirとvouloirを使って様々な依頼文を作る。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】依頼文、許可を求める文の暗唱。	30分
第26回	<p>パリ散策(1) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第27回	<p>パリ散策(2) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。</p>	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第28回	<p>パリ散策(3) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。</p>	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第29回	<p>総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第30回	<p>総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第31回	<p>期末試験</p>	
	【予習】	
	【復習】	

第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 1 については、期末筆記テストで評価します。(20%) 到達目標 2 と 3 については、期末筆記テスト(80%)で評価します。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%</p>		
使用資料 <テキスト>	田村弘行『フランス語で<ようこそ>』三修社。	使用資料 <参考図書>	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	<p>毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワー時に直接質問を受けます。</p>		
オフィス・アワー	<p>月曜日 3 限、324研究室。</p>		

授業科目名	英語 Bクラス	科目コード	G6101P01
英文名	English I		

科目区分	教養科目 - 外国語科目		
------	--------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	Jared Winans
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
-------	---------	---------	----------	---------	------------

到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.			
	: Increase confidence when reading and speaking in English.			
	: Develop academic English language skills for university and career success.			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. Class-building communicative activities.	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Textbook: Unit 1 (part 1)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Textbook: Unit 1 (part 2)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Review and quiz	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Textbook: Unit 2 (part 1)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Textbook: Unit 2 (part 2)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Review and quiz	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Textbook: Unit 3 (part 1)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	

第10回	Textbook: Unit 3 (part 2)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Review and quiz	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Textbook: Unit 4 (part 1)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Textbook: Unit 4 (part 2)	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Review, quiz, and special activity	
	【予習】 Read the assigned text, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review for final exam	
	【予習】 Review units 7-12 for final exam as guided by instructor.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentations, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%。 授業で評価方法について説明がある。 ディプロマ・ポリシー配分比率： 人間性35% 社会性30% 専門性35%		
使用資料 <テキスト>	Prism Reading 1	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	中国語 bクラス	科目コード	G6101P03
英文名	Chinese I		

科目区分	教養科目 - 外国語科目
------	--------------

職名	非常勤講師	担当教員名	銭 輝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	中国語の初歩的な発音と声調から始め、基礎文法を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、ヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。中国文化も授業の中の一貫として行います。一年間で基礎的な中国語を応用できる力を身に付けること、異文化理解ができるようになることを目指します。			
-------	---	--	--	--

キーワード	発音	文法	会話	応用練習	身につける
-------	----	----	----	------	-------

到達目標	中国語のピンインに基づいて、正しく発音ができること。				
	基礎文法を正しく応用ができること。聞いてわかるようになり、簡単な日常会話ができることを目指す。				
	中国文化が知った上での異文化理解ができること。				
	目標到達を目指して1. 課題完成度(予習、復習、宿題)50%、 2. 合わせて50%で評価する。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	中国語について 発音編 声調・単母音 挨拶言葉	
	【予習】CDを聴きながら、声調と母音を練習する	30分
	【復習】声調と母音を覚えるようにする・挨拶言葉の応用練習	30分
第2回	発音編 複母音・挨拶言葉	
	【予習】複母音の練習	30分
	【復習】挨拶言を覚え、単母音・複母音が書けるようにする	30分
第3回	発音編 子音 挨拶言葉	
	【予習】母音の練習(発音と書く)	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、子音が書けるようにする	30分
第4回	第4課 鼻母音 挨拶言葉	
	【予習】母音・複母音・鼻母音を聞く	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、母音・子音が書けるようにする	30分
第5回	発音ルール 発音総合練習 発音段階のテスト	
	【予習】発音ルールを身につける・漢詩を聞く	30分
	【復習】発音ができ、ピンインが書けるようにする	30分
第6回	第1課 断定文「～是～」の使い方、人称代名詞	
	【予習】CDを聴きながら、読む練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第7回	場所を表す代名詞、疑問詞を使った疑問文	
	【予習】代名詞、疑問詞の使い方	30分
	【復習】第1課 ポイント	30分
第8回	第1課 本文と単語	
	【予習】第1課 練習問題	30分
	【復習】本文と練習問題	30分
第9回	第2課の本文と単語	
	【予習】第2課の本文と単語	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分

第10回	文法： 形容詞述語文、動詞述語文	
	【予習】助詞「的」の使い方、疑問文	30分
	【復習】介詞「在」の使い方、数詞、有の使い方	30分
第11回	本文と単語、ポイント部分	
	【予習】会話練習	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第12回	年齢の尋ね方、十二干支の表現	
	【予習】第3課 ポイント の内容	30分
	【復習】ポイントにある作文練習	30分
第13回	第3課 接続詞の「和」、省略疑問文の表現	
	【予習】年月日の表現、文法と会話	30分
	【復習】名詞述語文と練習	30分
第14回	本文、会話、練習	
	【予習】第3課の単語、本文、文法	30分
	【復習】第3課のポイントと練習部分	30分
第15回	第4課 本文と単語	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】練習問題	30分
第16回	形容詞の連体修飾表現、方位詞	
	【予習】第4課のポイント の内容	60分
	【復習】第4課の文法、会話	60分
第17回	「有」存在の表現、動詞「去」を使った連動文	
	【予習】第4課の練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第18回	中間テストための勉強	
	【予習】第1課、第2課、第3課、第4課の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分

第19回	中間テストの実施	
	【予習】テスト準備	30分
	【復習】テスト点検	30分
第20回	第5課 本文と単語	
	【予習】単語、本文、会話、文法	30分
	【復習】ポイント の内容	30分
第21回	第5課 曜日の表現、助詞「了」の使い方	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】第5課 本文と単語を覚えるようにする	30分
第22回	第5課 会話と応用練習	
	【予習】仮定の表現、月日の表現	30分
	【復習】練習問題	30分
第23回	第6課の単語と本文	
	【予習】依頼の表現、選択疑問文の使い方	30分
	【復習】第6課の文法と単語	30分
第24回	授受の表現、感嘆の表現	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】作文と会話	30分
第25回	「太...了」の表現、数量詞の使い方	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】練習問題	30分
第26回	中国の文化について	
	【予習】各自に調べてもらう	30分
	【復習】プレゼンができるように準備する	30分
第27回	第7課 単語と本文	
	【予習】単語と本文を読めるようにする	30分
	【復習】構文を使って作文ができるように	30分

	第7課 ポイント の内容	
第28回	【予習】会話練習（第7課）	30分
	【復習】作文練習（第7課）	30分
	動詞「喜欢」、副詞「有时」の使い方	
第29回	【予習】第7課の本文と会話	30分
	【復習】練習問題	30分
	助動詞「想」、「既-又」の使い方	
第30回	【予習】第7課のポイント の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分
	期末テスト前の復習	
第31回	【予習】第5課、第6課、第7課を中心に	60分
	【復習】テスト範囲	60分
	期末テスト	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>1. 授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50%</p> <p>2. テストの成績50%</p> <p>3. ディプロマ・ポリシーに関しては人間性10%、社会性20%、専門性70%、到達目標については、「富山国際大学成績評価基準」に従って、評価します。</p>
------	---

使用資料 <テキスト>	應廣建・湯麗敏著 「スタート中国語」 白帝社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	---------------------------	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、へたでも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（湯研究室424研究室）
オフィス・アワー	火曜日2限

授業科目名	子どもと環境（教養）	科目コード	K0501P03
英文名	Children and Environment		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応		
------	--------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	5限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>子どもは自分が育つ環境を選ぶことはできない。未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成育できる環境を保障することは、社会全体の責任である。授業では、幅広く子どもを取り巻く環境 = 子ども環境について考え、実践していくために必要な基礎的な知識を得ることを目的として学びを深める。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	子ども	環境	平和	世界市民
-------	-----	----	----	------

到達目標	子ども環境について興味をもち、地球環境と関連付けながら、多面的かつ総合的にとらえ、理解することができる。(50%)			
	子ども環境の現状を理解し、よりよい環境との共生について考える態度を示すことができる。(50%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）		教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(1 ~ 1 5 回は、幼稚園教諭・特別支援教育教諭の実務経験のある教員による授業) 子ども環境の現状を理解する 「我が国の子どもの成育環境の改善に向けて - 成育コミュニティの課題と提言2020 - 」(日本学会会議) https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t297-5.pdf 「こども環境白書2019」 https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/kodomo/h30/index.html 他	
	【予習】子どもにとって重要な「環境」について、関連情報サイトを探して目を通しておく。 当日PCを使用するため充電完了しておく。	90分
	【復習】気になった現状や改善したいことについてwebsyllabusに記入する。	90分
第2回	子どもたちの未来環境を考える ～国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第6次評価報告書(2021) を紐解く http://www.env.go.jp/press/109850/116629.pdf 参照：国連事務総長ビデオ・メッセージ(ニューヨーク、2022年4月4日) https://www.unic.or.jp/news_press/messages_speeches/sg/43779/	
	【予習】当日の検索用にPC充電完了しておく。	90分
	【復習】自分(チーム) が行いたいアクションプランをwebsyllabusに記入する。 授業外での活動についての注意事項を理解し、実行すること。	90分
第3回	子ども環境を守り改善するアクションプラン作成と共有(実態把握・目標設定・計画・行動・社会への発信) エコロジカル・ソーシャル・ローカル・エンカルの視点から、未来のために大切にしたい環境について書き出す。 授業外の時間でアクションを起こし社会へ発信する。 第13,14回までに成果をPP発表できるようまとめる。チームを組む場合は4,5名まで。	
	【予習】関連サイトを閲覧し、プランを考えておく。当日の検索用にPC充電完了しておく。 学外で活動する際は、自主研修届を記入し、石倉までデータで提出すること。注意事項 自主研修届	90分
	【復習】自分(チーム) が行いたいアクションプランをwebsyllabusに記入する。 授業外での活動についての注意事項を理解し、実行すること。	90分
第4回	子どもの遊び場・食環境を学ぶ(ジュニア農林水産白書・厚生労働省子どものページ 他) 「こども環境管理士」の紹介	
	【予習】関連HPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第5回	子どもの成育環境をマンガで知ろう！森林(森の働き)森林づくり」から学ぶ(林野庁HP) 関東森林管理局参照 https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/joetu/invitation/05.html 林野庁ワークシート	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第6回	子どもの住環境と街づくり -日本型子どもにやさしいまち(CFC)モデル検証作業を中心に	
	【予習】幼少期の住環境や街について思い出しておく。PC充電完了しておく。	
	【復習】授業内容をまとめる。	90分

第7回	子ども環境と自然 - DVD「フローズプラネット 激変する氷の大自然」視聴（約30分）	
	【予習】子どもに関わる現在の自然環境について関連記事を検索してくる。	90分
	【復習】授業内容をまとめる。	90分
第8回	子ども環境と自然 - エコチル調査を中心に	
	【予習】エコチル調査とは何かを調べておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第9回	子どもの環境アクションプラン 途中経過発表（グループ共有）	
	【予習】どこまでアクションを起こしているか整理し、発表に備える。	90分
	【復習】今後の計画を練る。	90分
第10回	子どもの育成環境を国土交通省キッズコーナーから学ぶ https://www.mlit.go.jp/kids/ 国土交通省ワークシート 子どもの環境と災害を学ぶ - DVD「3.11その時、保育園は」、「3.11 知恵と夢の支援（2011こども環境学会）」 「子どもにやさしい空間」ガイドブック（2015ユニセフ）等を手がかりに	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。日本や世界の災害の様子について調べてくる。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第11回	子どもの未来環境を「ミライーノひろば」から学ぶ（経済産業省HP） 経済産業省ワークシート参照子どもの医療・療養環境（福岡子どもホスピスプロジェクト 他）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第12回	『ESD QUEST』から持続可能な開発のための教育を学ぶ（文部科学省HP） 文部科学省ワークシート参照	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第13回	子ども環境を守り改善するアクションプランの経過報告と学び 発表（各6分）質疑応答（各6分） グループ内での発表・共有。必要なものやデータがあれば持参すること。 発表した人（チーム）の感想をFormsに入力し、本日中に送信すること。全体的な感想を次時に伝える。	
	【予習】PCを使用して発表する人は充電完了して持参する。	90分
	【復習】今日発表した人（チーム）は、ここまでの学び、自分が実際に行ったこと、自分が成長した点、 子どもの環境にどのようなよい影響を与えたと思うか、自分の今後の課題を（7/ ）までに Formsに入力する。	90分

第14回	子ども環境を守り改善するアクションプランの経過報告と学び 発表（各6分）質疑応答（各6分） 発表した人（チーム）の感想をFormsに入力し、本日中に送信すること。全体的な感想を次時に伝える。	
	【予習】PCを使用して発表する人は充電完了して持参する。	90分
	【復習】今日発表した人（チーム）は、ここまでの学び、自分が実際に行ったこと、自分が成長した点、 子どもの環境にどのようなよい影響を与えたと思うか、自分の今後の課題を（7/ ）までに Formsに入力する。	90分
第15回	世界の子ども環境と平和の文化（国連WFP・KIDS外務省・ユニセフイノチェンティ研究所・世界銀行 他） （最後30分間で、Formsのまとめレポートを書き込んでいただきます。12:10までに、指定フォルダに提出してください） 提出後は授業アンケートに協力してください。	
	【予習】子どもの環境を守るために活動している団体や機関、人物などについて調べておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 発表で使用した、学外の写真は削除すること。 レポートについての全体的な感想をメールで伝える。	90分
第16回	定期試験は行いません。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 について、受講態度（毎回の感想やレポート提出）50%、アクションプランの感想 50%で評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：30%、社会性：40%、専門性30%）		
使用資料 <テキスト>	適宜配布する。	使用資料 <参考図書>	こども環境白書、林邦雄・谷田貝公昭監修 『子どもと環境』一藝社（2010）
授業外学修等	ペアやグループで話し合うことが毎時間あります。 様々な原因でネットが繋がらない人が毎年います。自前の携帯端末などで代用することもあるかもしれません。 各授業に関連する子ども環境について、新聞やニュース、関連の公式サイトなどに目を通すように心掛けてください。 PCでネット検索をする回がありますので、充電を忘れないようにしてください。		
授業外質問方法	授業後、オフィスアワー、メール（ishikura@tuins.ac.jp）などを利用して質問して下さい。		
オフィス・アワー	石倉：水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	地域文化論	科目コード	G6702P03
英文名	Regional Culture		

科目区分	基盤科目 - 地域づくり科目
------	----------------

職名	非常勤講師	担当教員名	木本 秀樹
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「地域」のもつ汎用性、多様性から1970年代、日本歴史学において「地域史研究」の理念が登場する。その後、大規模災害や地域社会における流動化現象により、その維持及び継続性の難しさも浮き彫りになる。こうした中で地域文化における技術・技能伝承、記録・記憶の不連続性や継承力低下がさげばれながら、これを克服しようとする新たな動向も見られる。ローカルとは「地域」に留まることでなく、「地域」という窓から日本全体や北東アジアなどを見る視点を志向していくものである。さらに地域社会に生きることの肯定感を高め、批判的（学問的）に見すえて積極的に改善していくとともに、地域住民のライフステージに応じた担い手育成を果たすことにも注視していきたい。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	地域史研究	地域文化遺産	生活文化	継承力	地域知
-------	-------	--------	------	-----	-----

到達目標	<p>：文化構造には、一般的に基層文化（ex.生活文化）のもとに表層文化（ex.芸術文化）があり、さらに重層的に構成されている。その中でも地域文化のもつ多様性や同質性、実学としての側面、生活上の相互扶助の理念など様々な性格や形態、実情などについて知識や理解を深めることができる。（60%）</p>				
	<p>：地域文化の継承及び発展が今後の地域力創造や地方再生・活性化の担い手として位置づけられ、地域住民が近未来に「よりよい生活」を目指していく有用な手段となり得ることを理解することができる。（20%）</p>				
	<p>：社会全体に進行する「ネットワーク型ヨコ社会」や生活単位の基本となる「21世紀家族」の構成、多様なライフスタイル、地域住民間の自己存在感と他者理解の均衡など、地域社会における共存・共生のあり方や課題解決に向けた相互の取り組みにつき、地域文化論の立場から自分の考えを表現することができる。（20%）</p>				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>授業科目計画ガイダンス 「地域」・「文化」とは 本授業科目がめざす目的や実施計画、学修上の留意事項などを説明します。次いで、「地域」や「文化」を考える上での基本的な概念や視点、参考文献を提示するとともに、受講学生の出身地や現在居住する地域の文化のあり方を振り返る機会とします。</p>	
	<p>【予習】出身地や居住する地域の地形・産業などの特色を踏まえるとともに、その地に根ざしてきた芸能や年中行事、現在も行われている（あるいは過去に行われていた）特徴的なイベントなどをわかる範囲で挙げる。第1回授業のあり、そのレポートを書いて提出する。その他、第1回授業以降の予習や提出課題などは、随時各回授業時において説明する。</p>	60分
	【復習】	
第2回	<p>「地域」・「文化」とは 「地域文化」とは 「地域」・「文化」概念については歴史学、民俗学、文化人類学などの学際的視点から解説します。また、「地域」や「文化」が時間的な経過（歴史）と空間的な広がり（地理）から多様に構成されて今日に至るとともに、さらに重層的に解釈できることを概観していきます。</p>	
	【予習】	
	<p>【復習】「地域」・「文化」のもつ多様性や多角的な視野からの観点を整理しておく。「地域」・「文化」に関しては、自分の興味関心となるテーマや視点を見出すことができるよう、毎回の授業内容を見直すことに努める。第2回授業以降の復習のあり方は、随時各回授業時において説明する。</p>	30分
第3回	<p>富山県の歴史と文化 富山県の自然・風土と文化構造 日本の風土や富山県の自然環境を解説して本県の文化を生み出した背景や文化圏を概観するとともに、古記録等から文化構造の要素を探ります。さらに県民性を育んできたと考えられる具体的な歴史事象をもとに、県民性のもつ特徴や文化の土壌を考える手立てとします。</p>	
	【予習】	
	<p>【復習】第3・4・5・6回授業のテーマから興味関心をもった事柄の一つ調べてまとめ、レポートを提出する。（詳細は授業時に説明する）</p>	120分
第4回	<p>富山県の歴史と文化 日本史の時代区分と古代・中世の越中 日本史上の時代区分を概観し、古代の地方行政制度が今日の地域区分の基となることを理解します。さらに古代越中国の大家持と『万葉集』や立山と古代社会、中世鎌倉・南北朝・室町・戦国期の歴史事象から、全国的にも特色ある地域史・地域文化の一端に触れます。</p>	
	【予習】	
	【復習】（第3回-復習内容と同様）	
第5回	<p>富山県の歴史と文化 近世の越中・近現代の富山県 近世では佐々成政、前田氏による支配一加賀藩及び富山藩の政策や特徴的な越中売薬について紹介します。近現代では富山県誕生に至る変遷や工業県としての姿、高度経済成長と日本海時代の到来、交通ネットワークの整備など、今日の富山県の発展過程に迫ります。</p>	
	【予習】	
	【復習】（第3回-復習内容と同様）	
第6回	<p>富山県の歴史と文化 立山にみる文化構造 奈良時代から歴史の舞台に登場し、平安時代から信仰の山として広まり、全国的に布教を展開した立山信仰史を解説します。また、山岳信仰や日本人の精神世界との関わりに触れるとともに、今日の観光振興の山一立山とその文化的要素についても考える機会とします。</p>	
	【予習】	
	【復習】（第3回-復習内容と同様）	
第7回	<p>地域社会と文化遺産 現代に生きる伝統芸能とそれを取り巻く今日的課題は、複雑で数多く存在します。こうした実態を踏まえて世界遺産、日本遺産をはじめとする国内外の遺産登録の現状とその背景について考える機会とします。</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	<p>地域社会と文化遺産 富山県の伝統芸能に関する映像を視聴して、現存する文化遺産の一端を解説します。さらに、それらのもつ今日的な文化的価値や継承のあり方、現状について紹介するとともに、自分の身近な地域に存在する芸能やその保存に関わる考え方に迫ります。（動画視聴）</p>	
	<p>【予習】第13回授業では、地域博物館・資料館について学修する。そこで富山県内の地域博物館・資料館などのうち、1館を選択して事前に観覧する。（他地域で自分が観覧したい館でもよい）観覧は「地域」や「文化」の観点を中心にし、これまでの授業での視点なども踏まえて第13回授業時までにレポートを書いて提出してもらう。（詳細は授業時に説明する）</p>	120分
	【復習】	
第9回	<p>「山」・「川」・「海」の思想と文化 自然地形には、それに関係性をもつ集団の営みや文化的要素が内在し、その根底に日本のみならず、東アジアの思想が背景に息づいていると言われます。中でも山・川・海が一体となり、古代以来日本における精神文化の基調となってきたことにも触れていきます。</p>	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	生活文化とは 日本の風土に根ざしてきた生活文化とは何か、その視点と内容の一端を解説します。実例として、太平洋戦争後（1945年～）から高度経済成長期、そして今日に至る日本の生活様式の変遷について取り上げ、生活文化という概念が登場するに至った社会的背景を考えます。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	生活文化とは 日本の風土と生活習慣を背景に、今日まで培われてきた太陰太陽暦（旧暦）1年間の生活暦や年中行事について解説します。これら背景には日本のみならず、古代東アジア社会の思想が色濃く反映し、現代社会においても姿形を変えて根づいていることの意義を考えます。	
	【予習】	
	【復習】 地域的特色や違いをとらえることを視点とし、自宅で食べる正月の雑煮の内容を確認してレポートを提出する。（詳細は授業時に説明する）	60分
第12回	「郷土史」から「地方史」、そして「地域史」へ 地域の歴史は、明治・大正期から昭和前期（～1945年）まで広く「郷土史」とよばれ、1950年代の「地方史」、1970年代からは「地域史」と呼称して今日に至ります。これが名称の変化のみならず、「郷土」の歴史研究の内容や「地域」概念の変遷とも関係することを考えます。	
	【予習】	
	【復習】 歴史の見方ーこれまで既習（既修）してきた歴史教科と本授業科目での「地域史」との相違する視点は何か、第3～6回授業内容も踏まえながら自分の考えを整理しておく。	60分
第13回	地域歴史遺産と生涯学習社会 地域社会に伝わる歴史資料（史）料の存在、その保存や活用に向けた取り組みについて解説します。さらに地域博物館・資料館、自治体史編集、市民学習講座、歴史的環境整備など、地域社会と地域文化とをつなぐコーディネーターとしての役割や機能についても考えます。	
	【予習】 第15回授業・総括と発表（アクティブ・ラーニング）に向けて準備する。自分の専攻や他授業科目の既修内容を踏まえた視点からの発表にも期待する。発表内容や形式については、授業時において説明する。	120分
	【復習】	
第14回	地域学と地域文化 地域学や地域づくり、地域学習の視点を提示してその背景について説明し、近未来における地域社会の担い手育成に向けたあるべき姿や方向性についても考えます。さらに、地域文化の継承・発展をこれからの地域住民による「市民的教養」として捉えていく姿勢にも迫ります。	
	【予習】（第13回-予習内容と同様）	
	【復習】	
第15回	総括と発表 - アクティブ・ラーニング 地域文化の継承と発展を図る上で求められる資質や能力、地域づくりと地域文化との関わり、伝統文化の保存と地域開発との整合性など、各授業時に示したテーマの中から関心をもったものを選択して発表します。（自分の専攻を踏まえた視点からの発表も大いに期待します）	
	【予習】	
	【復習】 これまでの学修内容をまとめ、地域文化の振興や発展を図る上で自ら課題解決に臨む姿勢をもつことができるよう復習に努め、前期末試験に備える。	120分
第16回	前期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 及び では、授業中に指定する課題レポート、口頭発表、受講態度等を中心に評価する。(40%)</p> <p>到達目標 及び では、前期末筆記試験をもとに評価する。(60%) 評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 ディプロマ・ポリシー配分比率： 人間性20% 社会性50% 専門性30%</p>	
使用資料 <テキスト>	毎授業時には講師作成資料や記事、データ、映像(動画・静止画)などの教材を提示	使用資料 <参考図書> <ul style="list-style-type: none"> ・『富山県史』各巻、各市町村史、地域史研究書、歴史学研究書をはじめ、テーマに
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回-予習で挙げた、学生個人による地域博物館・資料館の観覧及びレポート提出。 ・学生の出身地や居住地における年中行事など、地域資源の確認。(各授業時に説明する) 	
授業外質問方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時前後及び随時、理解度の確認。 ・講師と学生との時間調整により面談、その他による対応。(第1回授業時のガイダンスにおいて説明する) 	
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日2時限 非常勤講師控室。(事前確認のうえで水曜日2時限も可) ・講師と学生との時間調整により面談、その他による対応。(第1回授業時のガイダンスにおいて説明する) 	

授業科目名	住環境デザイン	科目コード	G7602P05
英文名	Living Environment Design I		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。「住環境デザイン」では、私たちの生活と住まい、インテリアコーディネート、住まいの歴史を中心に学ぶ。また、インテリアコーディネーター実務者によるプレゼンテーション実習を予定している。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	生活と住まい	色彩と造形	家具の設計	インテリアエレメン	住まいの歴史
-------	--------	-------	-------	-----------	--------

到達目標	私たちの生活と住まいの関係性を説明できる。（30％）				
	家具、インテリアエレメントに関するデザイン基礎知識がある。（30％）				
	住まいの歴史の概要を説明できる。（40％）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第2回	私たちのくらし(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第3回	私たちのくらし(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第4回	色彩の基礎	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第5回	色彩計画と造形	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第6回	家具の種類と構造	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第7回	家具の生産	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第8回	人間工学と椅子の設計	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第9回	インテリアエレメント	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分

第10回	日本の住まいの歴史(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第11回	日本の住まいの歴史(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第12回	インテリアコーディネート実習	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第13回	世界の住まい(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第14回	世界の住まい(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第15回	現代の住まい	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」(約50%)、全員が提出すべき「必修レポート」(「復習レポート」を含む)、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」(ミニテスト以外約50%)の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p> <p>ディプロマ・ポリシー(DP)の配分比率:人間性(20%)、社会性(10%)、専門性(70%)</p>		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。</p> <p>メールアドレス : kawamoto@tuins.ac.jp SNS : https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	木曜日 2時限(10:40~12:10) 研究室(439室)にて		

授業科目名	住環境デザイン演習			科目コード	G3203P07
英文名	Living Environment Design Practicum				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	<p> 本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。2つの講義を通して学んだ知識を基本に、「住環境デザイン演習」では、研究や実務に必要なプレゼンテーション手法に関して学習する。また、クライアントからのヒアリング能力、クライアントとのコミュニケーション能力を養う。各課題終了時に評価会を行う。内容は、一般的な図面や絵を使ってプレゼン能力を養うものであるため、「住環境デザイン」を受講していなくても構わない。単に出席していても意味がなく、各課題の提出とプレゼンテーションの実行を確実にしなければならない。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12） </p>				
キーワード	プレゼンテーション	設計製図	CAD	インテリアの設計	住宅の設計
到達目標	アパートや住宅の企画をグループ内でコミュニケーションをとりまとめることができる。（30％）				
	アパートや住宅の要望を整理して自分の企画を立てることができる。（30％）				
	自分が作成した企画を有効にプレゼンテーションできる。（40％）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス / 用具の使用方法和線の引き方	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第2回	図面のトレースと着彩 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第3回	住宅平面図 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第4回	住宅立面図 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第5回	パースの作成演習 1 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第6回	パースの作成演習 2 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第7回	プライベートルームの企画立案 (グループワーク)	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第8回	プライベートルームの設計 1	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第9回	プライベートルームの設計 2	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分

第10回	プライベートルームの設計評価会	
	【予習】プライベートルームプレゼンテーションの準備	180分
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第11回	住宅計画の企画立案（グループワーク）	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第12回	住宅設計演習 1	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第13回	住宅設計演習 2	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第14回	住宅設計演習 3	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第15回	住宅設計評価会	
	【予習】住宅設計プレゼンテーションの準備	180分
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第16回	住宅設計評価会 2（評価会未修了者、評価会欠席者対象）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。作成された作品（約50%の評価）とプレゼンテーション（約50%の評価）を学生が相互に評価した結果に基づいて評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。 ディプロマ・ポリシー（DP）の配分比率：人間性（10%）、社会性（20%）、専門性（70%）</p>		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応
授業外学修等	<p>各課題を授業中に完成できない者は、授業以外に時間を作り課題を完成する必要がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp SNS：https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて</p>		

授業科目名	経営戦略論			科目コード	G8202P01
英文名	Management Strategy				
科目区分	経営情報専攻科目 - 経営				
職名	講師	担当教員名	梁 庭昌		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	本講義では、企業の経営戦略の全体像を説明する。また、企業経営をうまくいかせるためには「内」と「外」の両方の視点から、具体的な企業事例を通じて経営戦略を理解する。				
キーワード	経営戦略	企業戦略	事業戦略		
到達目標	経営戦略に関する考え方と方法の知識を身につける（50％）				
	実際のケースをそれに対応できる経営戦略の方法で分析でき、対策を立てることができる（50％）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）		2.国際人としての能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		経営情報に関する専門性の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、経営戦略の全体像と基礎概念	
	【予習】本講義の概要や到達目標、各回の内容を確認する。	60分
	【復習】経営戦略とは何かを理解する。	60分
第2回	業界の構造	
	【予習】「企業の業績は、企業が属する業界の状況に左右される」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】ファイブ・フォースという理論を中心にして企業経営をうまくいかせるためには「内」と「外」の両方の視点で考えることが重要であることを理解する。	60分
第3回	取り巻く環境	
	【予習】「興味を持つ企業を取り巻く経営環境」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】経営環境と経営組織（自社）の関係をまとめること。	60分
第4回	基本戦略	
	【予習】「しまむらの戦略」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】コスト・リーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略の特徴をまとめること。	60分
第5回	製品ライフサイクル別戦略	
	【予習】「製品のモデルチェンジに触れながら、製品ライフサイクル別戦略」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】企業にとっての製品ライフサイクル別戦略をまとめること。	60分
第6回	市場地位別戦略	
	【予習】「複数の企業で構成される業界において、各社の競争関係はどのように捉えられるか」について調べて整理しておくこと。	90分
	【復習】競争優位化戦略の体系をまとめること。	30分
第7回	リソース・ベスト・ビュー	
	【予習】「同じ業界で、同じ戦略をとっていたとしても、2つの企業間で差が生ずるのはなぜか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】企業が保持しうる資源を書き出し、それらを有形資産と無形資産に分け、それぞれの特徴をまとめること。 一般的な価格設定のアプローチをまとめること。	60分
第8回	事業システムの構築	
	【予習】「興味を持つ企業を1社取り上げ、どのような価値をどのような事業システムで生み出しているのか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】競争優位に繋がる4つの要素をまとめること。	60分
第9回	事業領域	
	【予習】「ふくやの事業領域は、どのように考えたらよいか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】経営ドメイン定義の方法をまとめること。	60分

第10回	成長戦略	
	【予習】「興味を持つ企業を1社取り上げ、その企業がこれまでどのような成長を遂げてきたか」について調べて整理しておくこと。	90分
	【復習】企業成長の方向性と方法をまとめること。	30分
第11回	資源展開	
	【予習】「複数の製品や事業を有する企業が、如何に全体的に利益/成長をバランスよく達成するか」について考えてみること。	60分
	【復習】PPMの戦略的意義と留意点・限界をまとめること。	60分
第12回	企業の社会的側面	
	【予習】「企業はどのように社会との関係を構築して、戦略を策定するのか」について考えてみること。	60分
	【復習】企業の社会的責任とは何かをまとめること。	60分
第13回	組織構造	
	【予習】「組織構造の具体的なモデル」について考えてみること。	60分
	【復習】組織構造の具体的なモデルおよび「組織」と「環境」との関係をまとめること。	60分
第14回	組織文化	
	【予習】「組織文化は組織にとってどのような役割をもつか」について考えてみること。	60分
	【復習】環境・戦略と組織文化の関係をまとめること。	60分
第15回	企業変革	
	【予習】「企業変革とその難しさ」について考えてみること。	60分
	【復習】企業変革の8段階をまとめること。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・最終課題レポート 100% ・富山国際大学成績評価基準に従って評価する 【ディプロマポリシー配分比率】 専門性80%、社会性20%		
使用資料 <テキスト>	講義の際に適宜資料を用意し、一部を配布する。	使用資料 <参考図書>	嶋口充輝・内田和成・黒岩健一郎『1からの戦略論』，碩学舎
授業外学修等	予習、復習を合計、週2時間必要とする。その他、新聞、雑誌、ニュースなど、企業や消費者などの関連記事に常に目を通しておくこと。		
授業外質問方法	適宜相談に応じるが、電子メールなどで事前にアポイントを取ること。		
オフィス・アワー	金 / 9:30-10:30		

授業科目名	流通チャネル論	科目コード	G4302P04
英文名	Distribution Channels		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略		
------	-----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	山瀬 孝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、流通と商業について、現実から学ぶための理論と専門知識を解説します。その中心的な内容は、流通と商業の基本的な専門用語と流通の捉え方・枠組みについて説明した上で、流通の役割と機能を果たしている小売業の各種業態の特性・特徴について概観すると共に、卸売業の取引機能とその変化についても説明します。更に、販売チャネルの変化についても言及します。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	流通の基本用語	流通の捉え方	各種小売業態	卸売業の取引	チャネルの変化
-------	---------	--------	--------	--------	---------

到達目標	流通・商業の専門用語と基本理論を理解する。				
	小売業の各業態および卸売業について、業態特性と仕組み、役割と機能を理解する。				
	ビジネスモデルの中で流通が果たす役割について考察できるようにする。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【イントロダクション】 講師の仕事の概要を通して流通チャンネルを考える	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第2回	【流通とは?】 流通チャンネル、流通と商業が果たす社会的役割、卸売業と小売業	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第3回	【発展する商業：百貨店&総合スーパー】 商業の歩み、業種と業態、百貨店および総合スーパーの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第4回	【講義】 食品スーパー&コンビニエンスストア (CVS) 1 食品スーパーおよびコンビニエンスストアの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第5回	【講義】 食品スーパー&コンビニエンスストア (CVS) 2 食品スーパーおよびコンビニエンスストアの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第6回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第7回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第8回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分

第9回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第10回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第11回	【講義】ロジスティクス&eコマース、今後の流通1 ロジスティクスおよびeコマースの生成経緯と業態特性、今後の物流のあり方	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第12回	【講義】ロジスティクス&eコマース、今後の流通1 ロジスティクスおよびeコマースの生成経緯と業態特性、今後の物流のあり方	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第13回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第14回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第15回	【総括】 本講義のまとめ、試験対策情報、授業アンケート	
	【予習】これまでの授業に関して、疑問点や感想をまとめておいてください。	60分
	【復習】試験に向け、適宜必要な学習を行なっていってください。（ラストスパート頑張ってください！）	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（100%）で、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	なし	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>特に指定が無い限り、予復習の方法や時間は各人の裁量に委ねます。自分が一番身になる勉強法で学習して下さい。また、授業内で課題・レポートの提出、及びそのフィードバックがある事があります。</p> <p>日頃から面白いと感じたことは、どんどん追求して下さい。大学での時間を通じ、論理的、批判的、建設的に物事を考察できるように、また失敗を恐れず、自信を持って、自分の意見を主張できるようになってください。異論、反論は大歓迎です</p>		
授業外質問方法	mailにて問い合わせください。Yamase_t@jeckc.com		
オフィス・アワー			